

**[成果情報名]炭疽病抵抗性を有し果実品質に優れた種子繁殖型イチゴ新品種「うた乃」**

**[要約]**「うた乃」は炭疽病抵抗性をもつ促成栽培向けの種子繁殖型イチゴ品種であり、11月下旬から収穫を開始でき、糖度が高く果実品質に優れる。

**[キーワード]**種子繁殖型イチゴ、促成栽培、炭疽病抵抗性、極早生性

**[担当]**三重県農業研究所・野菜園芸研究課

**[分類]**普及

---

**[背景・ねらい]**

三重県は、2008年に栄養繁殖型品種「かおり野」を開発して以降、育苗の省力化、病害虫の伝染リスク軽減、増殖効率が高等のメリットをもつ種子繁殖型イチゴ品種の育成に取り組み、全国に先駆けて共同育種により「よつぼし」を開発した。このような中、生産現場からは「かおり野」と棲み分けする高価格対応の品種や早生性および病害抵抗性をもつ品種の開発に対する要望が多い。そこで、糖度が高く果実品質に優れ炭疽病抵抗性を持つ三重県オリジナルの高品質な種子繁殖型イチゴ品種を開発する。

**[成果の内容・特徴]**

1. 「うた乃」は促成栽培に適した一季成りの種子繁殖型 F<sub>1</sub> 品種であり、「女峰」、「愛ベリー」、「とよのか」および「宝交早生」を元に交配を繰り返して育成した自殖第4代系統「1410606」を種子親、「1546501」を花粉親にもつ。
2. 「うた乃」の果実は円錐形で、果皮は赤色、果肉は淡い赤色である。特徴的な風味をもち食味は良好である。糖度は「よつぼし」や「かおり野」より高く、酸度は「かおり野」より高く、「よつぼし」より低い（図1、表1）。
3. 「うた乃」種子の発芽率は「よつぼし」と同等で播種3週後90%である（表1）。
4. 炭疽病に対しては抵抗性品種の「かおり野」と同等以上の強い抵抗性を示す（表1）。
5. 「うた乃」は早生性を示し、促成栽培で11月中下旬から収穫でき、年内収量および5月末までの総収量は「よつぼし」より多い。果実は「よつぼし」より大きく、「かおり野」より小さい（表2）。

**[成果の活用面・留意点]**

1. 「うた乃」の栽培は三重県内の生産者に限定されており、栽培には三重県の許諾が必要である（[https://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/32032026963\\_00002.htm](https://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/32032026963_00002.htm)）。また、種苗購入後14か月以内に限り、ランナーによる栄養繁殖が可能である。
2. 標準作型としては、7月上中旬に406穴プラグ苗を購入して9cmポット等に鉢上げし、花芽分化を確認後9月中下旬に定植を行う。
3. 「うた乃」の炭疽病抵抗性は炭疽病菌 *Colletotrichum fructicola* に対するものである。
4. 本試験結果は高設栽培において養液管理による栽培を行った結果である。施肥過多により奇形果が発生する恐れがあることから、養液管理での栽培を推奨する。

[具体的データ]



図1 「うた乃」の草姿（左）、着果状況（中）、果実（右）

表1 「うた乃」の発芽特性、炭疽病抵抗性および果実品質

品種	発芽率(%) <sup>a</sup>		炭疽病抵抗性	果実品質 <sup>c</sup>		
	播種10日後	播種3週後	枯死株率(%) <sup>b</sup>	果実硬度 (N)	糖度 (Brix)	酸度(%)
うた乃	38	90	0	0.74	11.7	0.62
よつぼし	36	88	60	0.68	11.3	0.77
かおり野	-	-	20	0.68	11.2	0.54
章姫	-	-	90	-	-	-
宝交早生	-	-	10	-	-	-

a: Itoら(2010)の酵素処理法に準じて採種した種子を、2021年6月4日にガラス温室内で播種。

b: 9cmポット苗、 $4.0 \times 10^5$ /mlに調整した炭疽病菌分生子懸濁液を株あたり約12ml噴霧接種し、接種後24時間は28℃の接種器内で、その後はガラス温室内で育成し10週後の枯死株率を調査。

c: 2021年11月から翌年5月に収穫した果実について、果実硬度（直径2mmのプランジャーによる果実貫入抵抗値）を測定後、-30℃で凍結保存した。解凍滲出液を採取して、糖度（Brix値）、滴定酸度を測定。

表2 早晚性および収量性

年度	品種	平均出蕾日	収穫開始日	株当たり収量(g)		平均果重 (g)
				年内	5月末まで	
2021	うた乃	10/15	11/17	178	1611	19.2
	よつぼし	10/19	11/28	128	1282	17.4
	かおり野	10/15	11/19	315	1733	22.4
2022	うた乃	10/14	11/22	210	1343	18.7
	よつぼし	10/23	12/3	170	1146	17.8
	かおり野	10/20	11/24	350	1408	23.0

2021年6月4日および2022年5月23日に播種し育苗した9cmポット苗（かおり野は慣行ポット育苗）を、それぞれ9月16日および9月13日に高設栽培装置に定植し、調査。

（執筆者氏名）小堀 純奈

[その他]

研究課題名：三重オリジナルの高品質種子繁殖型イチゴ品種の開発

予算区分：県単

研究期間：2018～2023年度

研究担当者：小堀純奈、出野巧基、須田涼介、小栗速斗、丹羽千紘、戸谷孝、北村八祥

発表論文等：北村ら「うた乃」品種登録出願番号第36049(2022年9月28日)